

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

# 【術前】 Nivolumab+PEM+CDDP療法

3 週毎 3 コース予定

非小細胞肺癌

主治医

指導医

HBs抗原( )、HBs抗体( )、HBc抗体( )、HCV抗体( )

スケジュール

		day1
オプジーボ(ニボルマブ)	360 mg/body	↓
ペメトレキセド	500 mg/m <sup>2</sup>	↓
シスプラチン	75 mg/m <sup>2</sup>	↓

【注意】 \*他剤使用時は、ニボルマブ投与前に血管確保用生食にてフラッシュすること。

\*ニボルマブは、0.2 又は 0.22  $\mu$ mインラインフィルターを通して投与すること。

\*一日の尿量が 3000 mL以上になるように調整すること。

\*シスプラチンは遮光のこと。

\*治療前日から翌々日まで通常の飲水に加えて、経口補水液 500 mLを 1 日 2 本飲水すること。

\*ペメトレキセド投与の 7 日以上前よりパンビタン末を 1 g 分 1 で内服開始。<sup>注1</sup>

\*ペメトレキセド投与の 7 日以上前より

**メチコパール注 500  $\mu$ g 2 A(1 mg)を筋注(以後 9 週間毎)<sup>注2</sup>**

注 1:投与中止または終了する場合には、最終投与日から 22 日目まで可能な限り投与する。

注 2:投与期間中及び投与中止後 22 日目まで 9 週毎に 1 回投与する。

通常量より減量する際の理由

(レジメン)

day 1

- ① 生食 500 mLにて血管確保 維持(20 mL/時間)
  - ② オプジーボ 360 mg + 生食 64 mL 点滴静注30分(200 mL/時間)
- ◎メインの生食でフラッシュ

③ 生食 500 mL + L-アスパラギン酸K 10 mEq + 硫酸Mg補正液 4 mEq

点滴静注60分(500 mL/時間)

④ パロノセトロン 0.75 mg + デキサメタゾン 9.9 mg( 3 mL)+ アロカリス 235 mg + 生食 100 mL

点滴静注30分(200 mL/時間)

◎メインの生食でフラッシュ

⑤ ペメトレキセド + 生食 100 mL 点滴静注10分(600 mL/時間)

◎メインの生食でフラッシュ

⑥ 20 %マンニトール200 mL 点滴静注30分(400 mL/時間)

⑦ シスプラチン + 生食 300 mL 点滴静注120分(240 mL/時間)

\*生食200 mLをバッグから前もって抜いておく

⑧ 生食 500 mL + L-アスパラギン酸K 10 mEq + 硫酸Mg補正液 4 mEq

点滴静注60分(500 mL/時間)

day 2 - 4 デキサメタゾン錠 8 mg 内服

	1 コース	2 コース	3 コース
月 日	/	/	/
オプジーボ 開始時間	↓	↓	↓
ペメトレキセド 開始時間	↓	↓	↓
シスプラチン 開始時間	↓	↓	↓
確認			